

令和4年度入学者選抜試験問題（総合型選抜）

（地域学部地域学科国際地域文化コース）

「課題論文」出題意図

今年度は、平野啓一郎『「生命力」の行方—変わりゆく世界と分人主義』（講談社、2014）に所収されているエッセイ（「生き辛さの原因は？—『私とは何か—「個人」から「分人」へ』」）を、課題論文の資料として用意した。本資料の中で、平野氏は、「分人」という概念を提唱しながら、個人（自己）のアイデンティティの複数性・多様性を肯定的に捉える必要性を主張している。

問一では、自己の多様性を肯定的に認めるべきであるという著者の主張を、「分人」という概念を踏まえながら、簡潔に要約できるかを問うた。問二では、「分人」という概念を批判的に検討しつつ、「自己の多様性」に対する自身の考えを具体的に論じることができるかを問うた。

評価の観点には、①資料の要点を読み解く力②内容の論理的・一貫性や説得力③文章表現の技法等である。以上の観点から、「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」、「創造性」を総合的に判断する。